

社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

社会教育委員の皆さまへ

前文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課長

水田 功

令和2年に入り、誰もが予想できなかった新型コロナウイルス感染症の拡大という事態に直面し、日常生活から仕事まで、あらゆる場面で新しい生活様式が求められています。

学校教育においては、オンライン学習から学校生活そのものの在り方に至るまで、試行錯誤を繰り返しながら、取組を行っているところです。社会教育についても、いわゆる3密を避けつつも、柔軟な発想によって工夫を凝らしながら、活動を充実させていくことが求められています。

例えば、この度の緊急事態宣言下においても、図書館では、休館中でもネット予約をした本の貸出だけは継続したり、郵送による配達貸出しを行ったり、動画コンテンツをホームページやSNS等で公開したりするなど、様々な取組が見られました。

また、公民館でも、オンライン講座を行ったり、様々なテーマの動画を配信したり、スタイルを工夫しながら子ども食堂を継続したりするなどの取組が見られました。

文部科学省でも、各地のこうした取組事例をホームページで発信した

水田 功
(みずた いさお)

■プロフィール

平成5年4月に文部省入省後、文化庁著作権課、国際連合教育科学文化機関高等教育部、埼玉県教育庁管理企画総務課文教政策幹、スポーツ・青少年局企画・体育課課長補佐、文化庁長官官房政策課企画調整官、高等教育局高等教育企画課大学設置室長、同国立大学法人支援課国立大学法人評価委員会室長、警察庁生活安全局少年課少年保護対策室長、初等中等教育局財務課高校修学支援室長、同児童生徒課産業教育振興室長、同主任視学官、内閣官房一億総活躍推進室参事官、文化庁著作権課長等を経て、令和元年7月から地域学習推進課長。

り、会議で紹介したりするなどして参りました。

平成30年の中央教育審議会の答申でも「人づくり、つながりづくり、地域づくり」を掲げているように、人と人のつながりを大切にしている社会教育に携わる皆さまにとっても、これまで当たり前のように行っていた事業の実施方法などを見直すことには抵抗もあるかと思いますが、社会全体がウイルスとの共存を余儀なくされている中、社会教育の役割は一層重要になってまいりますので、思い切った新たな一歩を踏み出していただくことが重要になってきます。不登校の子供たちがオンラインの授業には出席できたという例が報告されていることも踏まえ、このピンチを、社会教育への参加者の幅を広げる機会と前向きに捉え直してみるのもよいと思います。

社会教育委員の皆さまにおかれましては、この大きな変化の中において、社会教育関係者の皆さまが、社会教育の強みを十分に生かしながら、新たな時代の新たな方法による活動を見出し、いくなど、地域の実情に応じた取組の一層の充実に向けて、リーダーシップを発揮してご活躍いただくことを期待しております。

新潟県からのメッセージ

新しい社会教育をデザインする

COVID-19の感染拡大に伴い、先行きが見えない状況が続いています。そして、不安と恐怖から「コロナ差別」や「コロナいじめ」と言われるような社会を分断するような行動もみられるようになり、大きな社会問題となっています。このような時こそ「人々の心をつなぎ、はぐくみ、響きあわせる」社会教育が極めて重要となることはいうまでもありません。

新潟県では、このような状況だからこそ社会教育関係者をつなぐことが必要であると考え、第六二回全国社会教育研究大会新潟大会(第五一回関東甲信越越社会教育研究大会新潟大会、第二〇回新潟県社会教育研究大会長岡大会)の準備を進めてきました。しかし、全国的にCOVID-19からの出口が見えない状態が続く、県をまたぐ移動については細心の注意を払うことが求められている状況から、本研究大会の通常開催は困難であると判断し、感染拡大防

止策を十分に整えた上で、新潟県内に在住者を対象とした事例発表(新潟県内の発表者のみ)、シンポジウム、記念講演会などについて、1日に短縮した研究大会を実施し、全国の皆様へは、書面(大会冊子)及び短縮した研究大会の様子を動画配信することを基本に開催させていただくこととしました。

本大会の開催地である新潟県長岡市は、戊辰戦争の戦場として、焼け野原と化した時がありました。その時、困窮する城下に支藩から米が届きます。しかし、長岡藩大参事・小林虎三郎は「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と人々を諭し、今を耐え、未来を見据え学校建設のために使います。その精神は、後に「米百俵の精神」と謳われるようになり、今も人々の心に息づいています。そして、本大会では、この精神を大会テーマ「未来につながる『米百俵(こめひゃっぴょう)』」フエ

ニックスの地ではじまるこれからの社会教育」に表しました。

また、研究主題を「新しい社会教育をデザインする」つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現」としました。社会教育は学校教育、家庭教育等と教育・支援によって結びつき、教育の中心的な役割をはたすことが求められています。これを実現するためには「新しい社会教育をデザインする」ことが極めて重要であるという視点にたつて設定された研究主題です。「デザイン」という言葉の語源は、素描を意味するデッサン(dessin)と同じく「計画や記号」という意味のラテン語designareがあり、「思考や概念を組み立て、様々な媒体によって表現すること」「目的をもつて具体的に立案・設計すること」などと解されています。他方、デザイン(design)のdeを冠詞として考え、記号的(sign)な美しさを脱する(ce)という意味とする解釈もあります。本研究大会の研究

主題で使用されている「デザイン」については、後者の意味で捉えていきたいと考えています。

COVID-19の感染拡大に伴い「新しい生活様式」の必要性が示され、従来の生活から脱することが求められ、本大会の開催方法も書面(大会冊子)及び動画配信による開催と工夫させていただくこととなり、新潟の地で、全国の社会教育関係者の皆様と直接お会いできないのは誠に残念ではありますが、新たな時代にふさわしい生涯学習社会について考え、五年後、一〇年後の社会教育をデザインしていただける大会となるよう準備を進めて参ります。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



第62回全国社会教育研究大会新潟大会

実行委員会委員長

山田智之

第62回全国社会教育研究大会 新潟大会
第51回関東甲信越静社会教育研究大会新潟大会
第20回新潟県社会教育研究大会長岡大会 **ご案内**

大会の変更等について

第62回全国社会教育研究大会の開催地である新潟県では、「未来につなぐ「米百俵(こめひゃっぴょう)」～フェニックスの地ではじまるこれからの社会教育～」をテーマに、社会教育関係者が一堂に会し、5年後、10年後の社会教育をデザインしていける大会となるよう準備を進めてきました。

今年に入り、突如として猛威を振り始めた新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態が宣言され、東京オリンピック・パラリンピックが延期されるなど、想定外の状況が続いております。新型コロナウイルス感染症が終息に向かうことを願いながら、当初の計画どおりに大会を開催することができないか熟慮を重ねてきましたが、県をまたいでの移動等に伴う感染拡大リスクを考慮し、予定していたかたちでの開催を見送ることといたします。この大会への参加を楽しみにされていた方もおられるかと思いますが、現状を踏まえて苦渋の決断に至りましたことを御理解願います。

なお、大会につきましては、通常開催に替えて紙面及び動画配信(録画)を基本としたかたちで実施し、次回以降の大会へ繋いでいきたいと考えております。

最後に、令和3年度の第63回全国社会教育研究大会石川大会が無事に開催され、再び全国の社会教育委員の皆様が集う大会になりますことをお祈り申し上げます。

新潟県社会教育委員協議会会長

第62回全国社会教育研究大会新潟大会実行委員長 山田 智之

◇大会の概要(予定:変更後)

- 1 期 日 令和2年11月12日(木)
- 2 会 場 シティホールプラザ「アオーレ長岡」(長岡市大手通1丁目4番地10)
- 3 内 容 事例発表、シンポジウム、記念講演など
- 4 その他
 - (1) 新潟県内の社会教育委員等を参加対象として開催します。
 - (2) 大会の様態について、全国の皆様が視聴できるよう、大会開催後、新潟県ホームページ等に動画を掲載・公開します。
 - (3) 大会冊子(当初、分科会で発表を予定していた事例を含む)を作成のうえ、各社会教育委員連絡協議会に10冊程度配布すると同時に、新潟県ホームページ等に掲載・公開します。

北から南から

…下へ下へと根を伸ばせ

北海道社会教育委員連絡協議会

会長 岩野 真志



昨年度、第五九回北海道社会教育研究大会(十勝大会)の企画・運営に携わる機会を得ました。多くの皆様の参加とご協力、ご指導に深く感謝申し上げます。

ここでは、大会そのものではなく、裏方としての思いをご紹介します。

まず、十勝で開催するコンセプトについて協議を行い、「人生一〇〇年時代。イノベーションや夢へ挑戦し続ける『十勝の系譜』をバックボーンに、明るい未来のビジョンを語り合い、次世代に夢や希望をつなぐ学

びを十勝から発信する研究大会に…」を、共有しました。

具体化の第一は、元東大総長でプラチナ構想ネットワーク会長の小宮山宏氏の講演配置です。結果は、参加者の九二%が満足。声を拾うと、「非常に興味深く最後まで面白く集中して聞けた。プラチナ社会、最初は？だったが非常に勉強になった。」「地域のしくみ作りについて、社会教育委員として頑張ろうと思った。一〇〇年先の地域未来の活性化のために！」というものでした。

具体化の第二は、高校生をはじめ地域で夢に挑戦する若者をパネラーにパネルディスカッションを行いました。参加者からは、「高校生のポラントニアの力は本当に地域を盛り上げる力になると感じた。」などの感想を頂きました。

本大会ではパネラーの高校生発案の地域食材を生かしたお弁当を販売しました。地場企業のCSR活動の一端に触れることができ、私は、「地域」と言うものを構成するメンバーについて、再認識しました。

更に、本大会の二年前に開催の全国研北海道大会の成果を継承したい

と考えました。それは「腹いっぱいしゃべり合う分科会」の実施です。具体的には、①提言・助言・グループ発表を止める。②アイスブレイクの代わりに交流会と分科会グループをリンク。以上の工夫で、参加者個々が話す時間の確保を図りました。

分科会は、八二%が満足してくれました。そして、①について「気持ちが悪かった。」(発表のために…)とならなかった。「時間が多くて楽しく話し合いができた。」「しゃべり場的で楽しかった。」との声が多くありました。②は、九四%がよかったです。評価してくれました。

新型コロナウイルス禍で、これまで社会教育が得意だった活動や、是としてきた手法はことごとくブレイキがかけられています。この状況がすぐに好転する見込みは低いのが現実です。

先を見つめるのは大切です。それだけでは躓きます。足下も見て、私達でもできる手洗いの徹底などで自らを守ることは、実は、家族や地域を守るための行動参加なのです。

しばらくは、来たるべき開花のため、深く広く根を伸ばす時ですね。

社会教育の明日を拓く 社教情報 No.83

特集テーマ 社会教育士(称号)の創設とこれから

<巻頭言> 社会教育士は新風を巻き起こせるか 教職員支援機構 つくば中央研修センター長 清國 祐二

<特集> 峯浩之、岩脇俊博、妹尾剛

<この人に聞く> 鈴木みゆき氏

取材 清國 祐二

<思考と提言> EBPMにおける証拠とは何か? 緩やかなEBPMへ向けて

坂野 達郎

SDGsの目指す理念と消費者教育の推進

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課 消費者教育推進係

<社会教育委員リレートーク> 滋賀県 → 三重県

<答申・提言> 「人をつくり、地域を創造する生涯学習社会の推進

～舞鶴版社会教育のあり方～」について(建議)

細川 恵夢

<社会教育委員Q&A> 「多文化共生社会」と社会教育

神部 純一

編集・発行 (一社)全国社会教育委員連合
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

社教情報

第87号 令和2年10月1日発行 83



コロナ禍と

子供たちの体験活動

大分県社会教育委員連絡協議会

会長 盛本 功爾郎



今年の学校の夏休みは、コロナ禍で生じた学習の遅れを取り戻すため、短くなるという。仕方がないのかもしれないが、教室で机に向かう短い夏休みは、子どもの心にどんな思い出となって残るのだろうか。少し気になる。知識は後から修得できるが、思い出は後からは作れない。長い自宅待機を強いられた分、楽しい思い出となる体験活動が必要ではないか。

私自身、小学校の思い出は、体験を伴った場面が多い。休み時間のドッジボール、運動会のフォークダンス、林間学校のキャンプファイ

ヤーなどは今でもときどき思い出す。授業では、音楽の楽器演奏、体育の水泳、家庭科の調理、理科の実験など、やはり体験を伴うものが印象に残っているようだ。学力とは関係ないから顧みられることも少ないが、学校生活での体験や思い出の価値は、もう少し評価されてよいと思うがどうだろうか。

ところで、日本の若者は、アメリカやイギリス、韓国の若者に比べて、自己肯定感が非常に低いという。このことはかなり前から指摘されているが、事態が好転しているとは聞かない。日本人特有の謙遜のようにも思うが、気になる数字である。

一方、自己肯定感と体験活動の相関関係を見ると、自然体験や生活体験が多い若者ほど自己肯定感が高いという。また、集団宿泊体験をした青年は、優しさ、思いやり、連帯感、仲間意識、自立心、リーダーシップが高くなる傾向があると報告されている。

体験活動については、家庭や地域への期待もあるが、すべての子どもに自然体験・集団宿泊体験活動を与えるためには、やはり義務教育の中

で、一定の質を伴ったものを提供していくのが望ましい。

しかし、残念ながら、遠足や集団宿泊的行事はあまり重視されていないようだ。全国の自然の家や野外宿泊センターは老朽化が進み、廃止や外部委託が増えている。教師は多忙なうえに、授業時数の確保が大変で、体験活動を増やす余裕はないと聞く。だけど、教育委員会は学校教育と社会教育の両方を所管しているのだ。やろうと思えば環境は整うはずである。社会教育は施設や体験プログラムを整え、学校教育は教育課程における積極的な位置付けを明確にする。いや、何も無理に個々の教科にあてはめる必要はない。自然に抱かれながら、少年自然の家の提供するプログラムを楽しみ、夜の闇や満点の星空、友達との語らいなど日頃体験できない生活を経験するだけでよい。

先行き不透明な時代を生き抜くためには、チャレンジ精神や思いやり、困難に耐える力が必要となる。異例のステイホームが長く続いただけに、自然体験や集団宿泊体験を大切にしてほしいと思う。

社会教育委員 必読の一冊

*法改正に対応しています

—改訂版—

社会教育委員のためのQ&A



A5判 定価1,296円(税込)
企画・編集／
(一社)全国社会教育委員連合
発行／(株)美巧社

主な内容

社会教育とは、社会教育と生涯学習
社会教育委員委嘱の範囲
諮問に応じるとは
教育委員会への助言とは
必要な研究調査とは
社会教育委員制度の活性化

社会教育と社会教育行政
實際生活に即するとは
環境を醸成するとは
社会教育を行う者とは
社会教育の振興と地方公共団体の任務
公の支配に属しないとは
教育委員会と社会教育関係団体の関係

**令和2年度第1回理事会・
総会が開催される**

令和2年度第1回一般社団法人全国社会教育委員連合(社教連)の理事会・総会は、現下の新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、書面審議となり、理事会が令和2年6月8日(月)、総会が同年6月22日(月)に開催されました。審議では、以下の第1号〜第7号議案について諮られ、全ての議案について承認されました。また、報告事項が3件報告されました。

・第1号議案

令和2年度事業計画(案)・

収支予算(案)について

(1) 令和2年度事業計画

今年度も、昨年度と同様の事業を実施する予定です。全国大会・地区大会は、最近のコロナ禍の影響を受けて、当初予定が変更され、開催が中止・延期される所が多くなりました。社会教育委員活動活性化セミナー、助成事業、表彰事業、出版事業等その他の事業については、昨年度どおり実施することとしています。

(2) 令和2年度予算

これまで、「公益目的財産額」の償却もあり、本会では、毎年赤字予算を続けてきましたが、このままの状況が続くと、本会の存続が立ちいかなくなり、本会の解散という事態も現実のものとなってしまいます。こうした厳しい状況を踏まえ、今後とも管理費等の削減に引き続き積極的に取り組むこととしていますが、結果としては、令和2(2020)年度の当期経常増減額(収支差額)は1,236,000円の赤字となっております。

・第2号議案

令和元(2019)年度事業報告・

決算報告について

(1) 令和元(2019)年度事業

報告

前年度からの継続審議であった「令和2年度からの会費の値上げ」については、令和元年5月17日(金)開催の第1回理事会・総会において年間10万円とすることが認められました。なお、機関誌『社教情報』の値上げについては、引き続き継続審議

となっております。

また、第61回全国社会教育研究大会(兵庫大会)は、令和元年(2019)年10月23日(水)〜25日(金)の3日間神戸市内において開催され、1,155名の方が参加されました。また、地区別大会については全国8ブロックで開催されました。その他、社会教育委員活動活性化セミナーは山形県庄内町で開催されたほか、表彰事業、出版事業、広報事業等についても例年通り実施されました。

(2) 令和元(2019)年度決算額

一昨年度に引き続き事業費や管理費の削減に努めました。収支決算額は1,796,034円の赤字となっております。

・第3号議案

公益目的支出計画実施報告について

第1号議案でもご紹介しましたが、本会が一般社団法人化された平成23(2011)年度以降、当時保有していた「公益目的財産(60,947,971円)」を9年間でゼロにすることが義務付けられ、毎年計画的に

償却してきました。結果、令和元(2019)年度末をもって全額が償却されました。

・第4号議案

第62回全国社会教育研究大会

(新潟大会)について

・第5号議案

第63回全国社会教育研究大会

(石川大会)について

・第6号議案

理事の退任・選任について

(1) 退任

大島峰夫氏(北海道社会教育委員連絡協議会会長)、伊藤康児氏(名古屋社会教育委員協議会会長)

(2) 選任

岩野正志氏(北海道社会教育委員連絡協議会会長)、野依智子氏(北九州市社会教育委員協議会会長)

・第7号議案

一般社団法人全国社会教育委員連

合定款細則の一部改正について

会費の値上げ(7万円→10万円)が認められたのに伴う定款細則の改正が諮られ、了承されました。

令和2年度 全国社会教育委員連合表彰 受賞者名一覽

本年度の「全国社会教育委員連合表彰」の受賞者が決まりました。おめでとうございます。

表彰状受賞者(敬称略)

Table listing award recipients by prefecture, including names and addresses. Columns include Prefecture (都道府県名), Name (氏名), and Address (住所).

社教連制定 社会教育委員バッジ. Includes a flower logo and contact information: 03-6380-8540.



一 一般社団法人全国社会教育委員連合表彰規程施行細則
第一条 表彰は毎年度実施する。
第二条 表彰候補者を推薦する基準は次のとおりとする。
第三条 都道府県の表彰者の人数の基準は、次のとおりとする。
第四条 政令指定都市の表彰者は、全附則
この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
平成25年10月23日 一部改正

事務局だより

令和2(2020)年度
全国大会・地区別大会の動向

令和2(2020)年度の全国大会・地区別大会については、コロナウィルス感染拡大の影響を踏まえ、開催道府県の実行委員会では、これまで様々な議論を重ねてこられました。

本会でも、役員会において今後の対応方針について検討した結果、基本的に開催道府県・政令市実行委員会の意向を尊重することとし、本年5月27日付けでその対応方針を各都道府県・政令市に通知しました。

その後、全国で感染拡大が一層進んだことから、各道府県・政令市の実行委員会では延期や中止を決定するところが増えていきました。

この度、全国大会(新潟大会)についても、開催県である新潟県の実行委員会において、誌上開催の決定をされたところです。

また、九州地区(沖縄大会)については、開催期間が短縮され、11月20日(金)に全体会が開催され、分科会については映像を録画・編集し、後日、県生涯学習情報提供システムで、オンデマンド配信すること

となっております。

今後、さらに状況が変わった場合は、直ちにホームページ等でお知らせします。[下表参照]

次回理事会・総会等について

来る11月11日(水)～13日(金)開催予定の全国大会の中で開催する計画でした理事会・総会、事務局担当者会議及び社会教育委員連合表彰式典は、開催を中止とさせていただきます。また、理事会・総会については、今後の状況によって書面開催とさせていただきますことでもありますので、よろしくお願ひいたします。

令和2(2020)年度

第3回理事会・総会について

令和2(2020)年度第3回理事会・総会は、令和3(2021)年3月に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は、①機関誌『社教情報』の値上げについて、②第63回全国社会教育研究大会(石川大会)について、③第64回全国社会教育研究大会(広島大会)について、④その他等を予定しています。

令和2年度全国大会・地区別大会の開催予定 (令和2.10.1現在)

全国大会(新潟大会)	誌上開催・短縮開催(県内在住者対象)・動画配信 ・各都道府県・政令市に大会冊子10冊程度配付 ・県内在住者を対象に、事例発表、シンポジウム、記念講演を11月12日(木)に1日に短縮して開催。[新潟県長岡市] その模様は録画編集し県生涯学習情報提供システムで配信。
北海道地区(渡島大会)	中止・来年度に延期
東北地区(秋田大会)	中止・大会記念誌作成
関東甲信越静地区	全国大会と同時開催
東海北陸地区(愛知大会)	中止・令和4年度に延期(令和3年度は石川大会のため)
近畿地区(大阪大会)	中止・来年度に延期
中国・四国地区(愛媛大会)	来年度に延期
九州地区(沖縄大会)	短縮開催・動画配信 ・全体会は11.20(金)に1日に短縮して開催(オンデマンド配信)[沖縄県読谷村] ・分科会については録画した映像を編集し、県生涯学習情報システムでオンデマンド配信
指定都市(北九州市)	書面開催